

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>管理者と職員は地域密着型サービスの役割を理解し「その人らしく生活して頂くために、その人の生きがいを見つけ、尊重し思いやりを持ってケアをします」という理念をかかげている。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念を事務室に掲示し、毎朝理念を復唱してから業務に入るようにし、理念を共有し日々のサービスに反映している。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>入居時にご家族へは口頭にて理念を説明し、私達のサービスに対する姿勢を理解し、共有して頂いている。また、運営推進会議などでも地域の方が理解できるよう説明している。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。</p>	<p>地域の祭りや市日、敬老会に出掛け、地域住民と交流したり、隣接のデイサービスの利用者や幼稚園の園児が迎えの時間まで遊びに来るなど、気軽に立ち寄れる雰囲気の開かれたグループホーム作りをしている。また、地域の商店などに行き買い物することで、地域住民との交流は出来ている。認知症普及活動では広報誌に記載する程度にとどまっている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を行うことで、当グループホームのサービスの質や取り組みを振り返る良い機会と捉え、自己評価は全職員で取り組んでおり、外部評価の結果を基に改善策を話し合い、より良いサービスの提供につなげている。	
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員、連合町内会会長、利用者家族、町の職員、地域包括支援センター職員が運営推進会議のメンバーで、自己評価や外部評価の結果について報告し、情報交換を行っている。又、改善策についても話し合い、サービスの向上を目指している。	
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政機関へパンフレットを配布するほか、自己評価や外部評価の結果も報告している。また、課題解決や質の向上の為の提案をするなど、行政との連携を密に図っている。	
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者、職員は地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について知識としては知っている。現在、対象者は居ないが、必要に応じて支援していきたいと思っている。	○ さらに、知識を深める為にも勉強会を行いたい。
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会参加や法人内の勉強会、身体拘束・虐待防止委員会の活動を通して、高齢者虐待防止法について理解を深めるための取り組みを行っている。また、虐待を発見した場合の対応方法や改善策を虐待防止委員会で話し合い、内容を全職員が理解している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、ホームの理念やケアの方針を説明し利用者や家族が安心して利用できるよう、意見や疑問点に充分配慮している。契約改訂や退居時にも十分な説明を行い、同意を得ている。退居時には退居先の情報提供を行うなど支援している。	
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見、不満、苦情に関しては、日々職員が聞き取りを行ったり、職員で対応困難な場合は、ご本人様と上司が面談するなど、速やかに対応し解決するようにしている。また、外部者へはクレーム報告書を作成し内容を報告し、日々のケアサービスに反映させるように努めている。	
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、広報を発行し、サービスの提供体制や入居者の生活を写真を掲載して報告している。また、出納長のコピーも同封し、収支の金銭管理についても報告している。受診状況については、電話や面会時にその都度報告している。	
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時など家族がホームを訪れる際に声掛けをしたり、意見箱を設置している。また、苦情受付窓口を明示し、出された要望や苦情は日々のケアサービスに反映させるように努めている。	
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常時、意見や提案を聞く体制作りを行っており、速やかに意見や提案が反映されるよう、話し合いの場を設け、日々のケアに反映させている。	
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者やご家族の状況の変化が生じた時は、必要に応じて、業務の見直しと、必要な時間帯に職員を配置できるように、半日勤務や他部署の職員の応援も依頼し対応している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
5. 人材の育成と支援			
17	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
18	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	同法人内のグループホームとのユニット間の職員交流に留まっている為、他グループホームとも積極的に交流を行い、サービスの向上や職員の育成に繋げていきたい。
19	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		
20	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者やケアマネなど、部署の上司から職員の努力や勤務状況を聞き取り、国家試験を受けて資格を取るなど、向上心を持って職務に当たっている職員に対して、手当等々に反映し向上心を持って働けるよう努めている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の利用者本人やご家族様に対しては、管理者やケアマネが、必ず事前面談に伺い、必要な時は何度も伺い、不安なことや求めることを聴くようにしている。	
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時の内容については、ケアマネに報告し、ケアマネがご本人様にあったサービスを、他サービスの利用も含めて十分に検討し、対応している。	
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の視点に立ち、相談受付を行うよう努めている。また、安心してサービスを受けられるよう、利用者や家族の意向に合わせて、十分に話し合い、調整を行っている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を人生の先輩として敬い、畑仕事や郷土料理作り、漬物作り、生き物の世話など、様々な活動をお年寄りから学び、生きがいを感じながら出来るように支援するように努めている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族参加型の行事を企画し、職員とともに裏方として作業をお手伝いして下さるなど、利用者が楽しめるよう、職員と共同して活動できる場を設け、職員と家族の協力関係を築いている。		
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時にこれまでの家族関係や本人と家族との関わりについて聞き取りを行ったり、面会時にご家族とのエピソードを伺うなどし、理解を深め、より良い関係が維持できるように努めている。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に本人が通い慣れたなじみの店や町内の友人などに、外出や面会等が定期的に行える様、ケアプランの内容に盛り込むなどしている。また、いつでも馴染みの方にお会いできるように、面会に立ち寄りやすく、近況を伺ったり、伝えたり出来る場の提供に努めている。		
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事の席や共同作業など、常に利用者同士の仲間作りを意識し、仲の良い関係や同じペースで生活が出来るなじみの関係作りに配慮している。		
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスの終了した利用者のご家族に対しても、いつでも遊びに来たり、法人の行事等に参加していただけるよう、また他の入居希望者の相談に乗れるよう、関係を断ち切らないように努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者とのコミュニケーションから思いや意向などの把握に努めている。十分に把握出来ない場合は全職員でミーティングを行い、話し合っている。必要に応じて家族、関係者から情報収集を行っている。	
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人またはご家族より、ホームが独自に製作している生活歴の聞き取り用紙に記入していただいたり、口頭にて情報収集を行い、それまでの馴染みの暮らし方やサービス利用経歴について把握している。	
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日誌とケース記録に入居者9名の生活状況を毎日記載し、申し送りにより、全職員が入居者一人ひとりの日々の変化や現状を把握している。又、必要に応じて他職種の医師や看護師、栄養士、リハビリ担当などと相談し、全職員で話し合いを行い総合的に状況把握を行っている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	3ヶ月に一度、看護師や栄養士、リハビリ担当の意見も反映しながら、ケアマネ、管理者、全職員が出席し、ケース会議を開催している。面会時や介護計画の説明時にご家族より意見や意向を伺い、介護計画に反映している。	
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の実施期間中に対応できない変化が生じた場合は、速やかにご家族や専門の職種（看護師、栄養士、リハビリなど）と相談し、3ヶ月の期間にとらわれず全職員で会議を行い介護計画の見直し、現状にあった計画の作成を行っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録、ホーム独自に製作しているケアチェック表にケアの実践や結果、気づきを日々記録し、介護計画見直しに生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入院者が出た際の空室を利用し、ご家族の了承を得てショートステイサービスを行っている。又、法人の職員が、認知症の予防や理解を深める為に、キャラバンメイトの資格を取得したり、フォローアップ研修に出掛けている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域資源については、警察、消防など万が一の事故が起きた場合、連携し協力体制を図っている。民生委員については、ホームに入居する以前に居住していた地区の方などが、時々面会に訪れてくれている。文化、教育機関とも図書館利用や集会所等の利用、学生のボランティア受け入れ等、連携体制を図っている。		
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて、地域の他ケアマネージャーへも連絡、話し合いを行い、ご本人に合った他サービスの利用も随時検討している。		
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて、地域包括支援センターへも情報提供を行い、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメントが行える様、法人のケアマネや在宅介護支援センタースタッフの協力の得ながら行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
41	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
42	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
43	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
44	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
45	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	住み替え時のダメージについては、全スタッフが熟慮しており、家族や本人に関わる関係者（医療機関や担当ケアマネなど）とも、十分に情報交換を行い、最小限にダメージを抑えられるように努めている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
47	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	利用者のプライベートに配慮し、尊敬の気持ちを持って、介助時の声掛けなども十分に配慮している。職員は個人情報保護法について理解しており、個人記録などの個人情報は、訪問者や利用者の目が届かないよう、事務室に保管している。	
48	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	職員は常に、ご本人が思いや希望を表せるように声掛けたり、聞き取りを行い、本人の理解力に合わせた言葉や話し方で説明を行なっている。自己決定や本人が納得して生活出来るよう支援している。	
49	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者のその日の希望や身体、精神状況を把握し、利用者のペースに合わせた柔軟な支援を行っている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	化粧品や髪型、服装など、その人の好みのものを準備し、その人らしいおしゃれが出来るように支援している。理美容室についても、行きつけの店に職員が対応し行ける様、努めている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、入居者の好みや苦手なものに配慮し、代替食も用意している。週3回の調理の日を決め、職員と一緒に調理や片付けを行っている。職員は、さり気なく食べこぼし等へのサポートを行いながら、一緒に食事を摂り、楽しい食事時間となるよう努めている。		
52	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物やおやつについては、入居者一人一人好みのものを用意し、ご家族も面会時に持参して下さるなど、毎日の間食として日常的に楽しめるように支援している。飲酒、喫煙については該当者なし。		
53	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	職員は、排泄の失敗を減らすよう、排泄パターンを把握し、トイレ誘導を実施したり、声掛けを行っている。又、オムツ使用についても、極力夜間のみ尿とりパッド使用程度にし、夜間も出来る限りトイレ誘導を促し、気持ちよく排泄出来るよう支援している。		
54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯や入浴方法など、入居者の意向に応じた入浴を支援している。入浴の際は入居者の羞恥心や負担感、安全面に配慮し、適切な支援を行っている。また、入浴を拒否する際は声掛けやタイミングなどの工夫をしている。		
55	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食後に休息の時間を設けている。生活習慣により休息をしない方は、そのまま起きて過ごして頂いている。また、個室で一人で落ち着かず休めない方については、共有スペースの居間でソファにて安心して休めるように配慮している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴や希望、力量を把握し、一人一人が楽しみながら出来る事を促す働きかけを行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理、保管に関しては、職員が金庫にて保管し、週1回金銭確認をしている。行事や買い物希望時には、本人の意向や能力に応じて金銭を所有して頂き、見守りの介助等を行い、使用できるよう支援している。		
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	年間の行事予定を作成し、さくらんぼ狩りや夏祭り等のほか、毎月開催される町の市日への買い物などに出掛けている。また、入居者の状況に合わせて、個別に外出支援を臨機応変に対応している。		
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の希望を取り入れ、スタッフの都合がつく時には、随時個別での外出を支援している。また、ご家族へも応援を依頼し、外出する機会を設けている。		
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	随時、本人が希望する際には、家族や知人への電話対応、手紙の対応を行っている。		
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	どなたでも気軽に入居者を訪問できるよう、また、訪問時はゆっくりを居心地よく過ごせるよう、プライバシーへの配慮も含め、個室での面会を促している。		
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者及び管理者、全スタッフは身体拘束の内容や弊害について十分に理解している。また、法人内の事例検討委員会では、言葉による拘束などの事例をあげ、勉強会が行われている。やむを得ず身体拘束を行う場合は、その必要性を充分ご家族に説明し、了承を得て行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
64	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
65	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
66	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
67	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
68	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりのリスクについては、面会時や電話、ケアプランの説明の際に、ご家族に説明を行い、抑圧感のない暮らしを提供している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調や異変の早期発見の為に、出勤時には必ずお年寄りと挨拶をし、体調や睡眠状態を尋ねたり、顔色や体調を見て、いち早く変化に気付けるように努めている。		
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	リーダースタッフは特に薬について把握しており、症状の変化の確認に努めている。また、服薬に関しても、新人スタッフに適確に指示、指導を行ない、観察ポイントを伝え、確認している。		
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分以外に、食物繊維を多く含んでいる寒天や、排便を促す為に乳製品を進めている。起床時には、苦手な人以外、全員に牛乳を勧めている。また、積極的に体を動かすよう、散歩や歩行訓練、リハビリを取り入れている。		
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時、毎食後の口腔ケアと義歯洗浄を定着させている。また、週1回曜日を決めて、夜間義歯を外して頂き、義歯洗浄剤につけおきしている。		
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の好みや習慣に合わせ、栄養バランスを考えた献立を法人の栄養士が立てている。1日の摂取カロリーや水分の摂取量を把握し、記録している。栄養状態、体重変化等の相談も気軽に栄養士と行え、アドバイスをもらっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に関するマニュアルを作成し、外部の研修会に参加したり、法人独自で感染症対策を行っている。また、マニュアルは必要に応じて見直しを行っている。感染症に関する情報収集を積極的に行い、家族にはパンフレットを配布したり、面会時などに対策の周知徹底している。		
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材については、手作りの材料は一回分づつの量を厨房で提供する為、毎回新鮮なものを使い切っている。台所、調理用具については、毎日ハイター消毒を行い、衛生管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関や建物周辺には、プランターや花壇を配置し、季節感を取り入れている。また、居間の窓から見える位置に畑があり、撒いた物の成長を楽しめる環境にしている。		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間や居室は採光が適しており、明るい雰囲気になっている。装飾についても、季節感を感じられるような装飾を入居者とともに製作、飾りつけを行っている。テレビや入居者の立てる物音は適当で家庭的な雰囲気になるよう努めている。		
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースには、食卓以外にソファや長テーブル、廊下にも長椅子を配置し、思い思いに気の合った入居者同士が過ごせるような空間作りを行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	家族や孫の写真を飾ったり、テレビやラジカセな ど、愛用していたものを持ち込んでいる。フロー リング以外に和室もあり、入居者の好みに合わせ た居室作りを行っている。		
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	換気は午前中の掃除の際に必ず行っている。ま た、気温に応じて、外気との差が大きくなり ないよう、その都度温度を窓を開閉し調整して いる。悪臭対策も使用済みの尿取りパットを新聞紙でく るみ、できる限り消臭するように努めている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	建物内部は共有スペースも個室も段差をなくし、 安全に自立して生活が送れるような建て方になっ ている。		
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	入居者のレベルに応じて、トイレの表示をつけ たりなどしており、混乱や失敗を防ぎ、自立した生 活が送れるように工夫している。		
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動でき るよう活かしている	廊下の手すりなどを使い、足踏みや立ち上がり訓 練など、レベル低下防止のリハビリの材料として 活用し、入居者の活動に役立てている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)